

えんがわ

第17号

2008年8月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
Tel.046-852-1182

衣笠病院グループの植物

植物に興味をもってから十七〜八年になる。植物の名前で知っているのは、桜と梅ぐらいで、桐の木とプラタナスの区別が付かなかった。書店で葉っぱから木の名前を探すことのできる「樹木」という本を見つ

け、時間を見つけては家のまわりの木の葉を見て、名前を調べるようになった。初めて葉っぱから木の名前を知ることができたときには感動であった。

三浦半島は自然に恵まれ、少し歩けば自然の野山に足を踏み入れることができる。しかし衣笠病院や、衣笠ホームの庭にも結構沢山の草花や木があり、季節

毎に楽しむことができる。

病院の二階建駐車場で、春には桜の大木が満開となり、夏になると凌霄花（のうぜんかずら）がオレンジ色の花を咲かせる。

衣笠ホームの庭では、五月にはヤマブキ、秋にはホトトギスが心を慰めてくれる。井口理事長が寄付された「からし種子」は、植えられた直後は腰ほどの高さであったが、一年も経たない内にホームの玄関の屋根より高くなり、あまりの成長の早さにおどろかされる。五月から七月にかけて黄色の可憐な花を鑑賞することができる。草花の観賞は忙しい日常での安らぎの一時である。

衣笠病院顧問 南信明

えんがわ在宅モ びとくちわ おむつの

ひと工夫

梅雨もあけて、更に暑くなりまし。オムツの中はとても湿気があり、痒みや床ずれになりやすくなり、皮膚のトラブルが増えてきます。

一日の間で時間を決めて交換されている方も多いと思います。

大きなテープ式オムツの中に尿とりパットをはさんでいる方は、尿とりパットの裏のビニールに縦に長くはさみで切れ目を入れてオムツに尿を逃がしてあげましょう。夜間は朝まで交換時間があくので吸収力がアップし、横もれでシートや寝衣の汚染も大分防げます。

高価なパットもさらっと

して良いものがあります。薄い物を二枚重ね（一枚をカットして）で使うこともよいかもしれません。カットしたパットを処理するときには中のゼリー状の物が散らかるので傍に袋か新聞紙を置き捨ててください。

またテープ式オムツはゆったりとあててください。赤と心地よいと思います。赤くなったり、発疹があったりしたら、かかりつけの先生に相談して痒み止めの塗り薬やクローラーを上手に使いこの夏を快適にお過ごしください。

衣病訪問看護ステーション管理者 永島敏子

夏は

ビール！
をのんだら、痛風に注意！
！しまし
よう。

